

令和7年度 みつわ台北小学校学校経営方針

学校教育目標

自ら学ぶ意欲を持ち健康で思いやりのある児童の育成
～ 生き生きと楽しく学び合える学校 ～

【こんな学校に】生き生きとした学びを地域・家庭との連携により、創造する開かれた学校

連携と交流

- ◎ 学年間の連携（情報共有）と学年で目指す子供像に向けて共通理解しながら指導・支援
- 特別支援学級（さくら学級）と通常学級との交流教育の充実

説明責任（アカウンタビリティ）

I アンケート結果

- ⑬ 学年により、連絡帳、電話等で学校の様子が伝わるよう努めている

→ 情報発信を意識

- ・ お便り、学級連絡事項のすぐーる配信
- ・ 連絡帳の内容のギガタブの活用

児 童		保護者		教職員	
R5	R6	R5	R6	R5	R6
3.22	3.33	3.37	3.32	3.50	3.08

危機管理と法令遵守（コンプライアンス）の徹底

- 性暴力予防→ **死角改善** ○不審者予防 → **門扉の施錠**
- 体罰禁止 → **暴言**にも注意 ※自身のキャラクターの変化に意識
- 情報共有（担任、養護、管理職）★報告、連絡、**相談＋報告**
 - ・ 怪我をした場合、首以上の怪我は即刻保護者に連絡する。首以外でも軽微でなければ連絡する。
 - ・ 何か起きたら軽微なことでも報告、
- 個人情報保護
 - ・ 家庭から集めた場合の名簿への○付け。 **職員室、教室での保管状態、在宅勤務時の運搬**に注意
- 生徒指導
 - ・ 「さ・し・す・せ・そ」（最悪を想定し、慎重に、素早く、誠意をもって、組織で対応）

50周年（地域とともに）

樹木他歴史への興味→記念樹の認識、表示札の作成、記念式典に向けて（他行事との日程調整）

社会に開かれた教育課程の実現 = 外部（家庭・地域・近隣幼保小中学校・市教委等）との連携

- カリキュラムマネジメント(教科横断化・PDCA サイクル・外部資源)による教育課程の見直し
- 外部機関との連携による諸問題の解決 → SC、SSW、市教委、養教セ、市教セ、児童相談所等
- 学校評価の充実（PDCA マネジメントサイクルの活用）外部評価と内部評価

【こんな教職員に】 「チームみつ北」 全児童を全教職員で支援していく体制

豊かな人間性と共感的理解 人間の総合力の向上

- 人間性豊かな明るい教職員：子供・保護者に信頼され、同僚から敬愛される教職員
- 子供と共に汗を流し、心に寄り添い共感できる教職員

チーム学校 **少数精鋭**の学級担任団の連携

- 教職員の互いの助け合い、磨き合い → 連帯・協働の精神を大切にする。（「報・連・相＋報」）

働き方改革 教育課程の改善

- 学校及び教師の業務を整理（スリム化）→子供たちと向き合う時間を確保する。
- 教師の生活の質や教職人生の充実→短い勤務で高い成果を維持・向上する。

研修 3つの資質・能力の育成のための、主体的・対話的で深い学びを積極的に取り入れ

- 校内研修の充実 → 研究教科にとらわれず、**言語活動、体験活動**への積極的姿勢
- 研究推進委員会の機能強化 ☆**研究3年目となるので、具体的な取組と成果の共有を目指す。**
- 研修履歴簿の周知と活用
- **学習指導要領（教科書改訂）への対応 「個別最適な学び」と「協働的な学び」**
- 第3次学校教育推進計画の理解 6つの柱

【こんな子供に】 「当たり前前のことを当たり前前のできる子」の育成

◎知育

○頭の元気なみつ北っ子

(Ⅲ 身につけさせたい態度や行動アンケート⑧に関連)

◎徳育

○心の元気なみつ北っ子

(Ⅲ 身につけさせたい態度や行動アンケート①に関連)

◎体育・安全

○体の元気なみつ北っ子

(Ⅲ 身につけさせたい態度や行動アンケート⑦に関連)

「早寝・早起き・朝ご飯」

(Ⅰ アンケート結果⑭に関連)

と 「自助、共助」

【経営の重点】 「ニーズに應える」

数値を意識

「基本的生活習慣」

Ⅰ アンケート結果

⑭ 子供たちが早寝、早起き、朝ごはん

(規則正しい生活)ができるよう努めている。

児 童		保護者		教職員	
R5	R6	R5	R6	R5	R6
3.05	3.12	3.10	3.14	3.20	2.92

数値にとらわれず

「心や心情を高める教育」

「言語活動」

「体験活動」

Ⅲ 身につけさせたい態度や行動アンケート (保護者のみの設問)

① 心や心情を高める教育の充実 (「感性豊かな子」の育成)

⑦ 体験活動の充実 (体験を通じて自分に合った生き方の育成)

⑧ 言語活動の充実 (自分の意見を自分の言葉で発表したり書き表したりする力)

人数	割合%
95	57.9
63	38.4
76	46.3

【経営の具体】 「生きる力の育成」

頭の元気なみつ北っ子 — 知育

《授業で勝負》《わかる授業づくり》

① 基礎・基本を重視した知識・技能の習得

・ギガタブを日常活用した、アナログとのベストミックスによる「個別最適・協働的な学び」の実践

・朝学習の充実、漢字・計算の反復学習・読解力 向上のための音読、ふり返りテストの実施

② 読解力向上

・読み聞かせや中央図書館の団体貸し出し利用による並行読書の推進

・学び合いのできる (「言葉のinputとoutputを大切にする」)工夫 →主体的・対話的で深い学び

③ 家庭学習の啓発・・・ICTの活用による学校との継続的な活動

心の元気なみつ北っ子 — 徳育

互いに認め合う学年・学級経営の充実

○人権尊重による心の育成

・いじめ、差別や偏見を許さない心、自他を大切にする心 (月1のえがおアンケートによる認知)

○特別活動、総合的な学習の時間を利用した体験活動の場の充実

・移動教室・農山村留学・げんきキャンプ・校外学習等の体験的な活動を充実させる。

・児童の自治能力(きまり)を育成し、児童の主体的参加により児童会活動や行事を充実させる。

○生徒指導の充実

・生徒指導主任を中心とした積極的な生徒指導と生徒指導部会の活性化

・児童と教師の信頼関係及び児童相互の人間関係の確立

・下校指導の徹底：昇降口まで全員を引き連れて下校指導をする。盗難予防と下校時の安全のため。

◎基本的生活習慣の指導と充実 (＋早寝・早起き・朝ご飯・家庭学習)

挨拶

時間 身だしなみ (名札・靴揃え)

率先して (そうじ、係・委員会活動)

感謝

○特別支援教育及び教育相談の充実と推進 (特別支援コーディネーターと教育相談主任を中心に)

・特別に教育的支援を必要とする児童への支援体制の整備 ※ケース会議の実施

・サポート会議、個別の支援計画・指導計画を基にした校内支援体制の確立及び年2回教育相談の実施

体の元気なみつ北っ子 — 体育

日常的な指導の充実

学校保健安全委員会の充実

(保健・給食・体育・安全指導の連携)

○保健指導

日常的な健康教育 (疾病の予防・早期発見・早期治療・身体や性に関する教育)

手洗い・歯磨きの励行

○給食 (食育)

食の大切さについての計画的な指導、栄養職員による食育指導

保護者との連携を密にしたアレルギー対応

○体力向上

体育学習による運動量の確保と技能の向上

日常体育の充実 (1日1回は外遊び、マラソン、投力向上を目指した運動の奨励)

○安全教育

危機回避/防災対応能力の育成 (防災・防犯・交通安全・SNS等) → 自助、共助

セーフティウォッチャーとの連携

★「規則正しい生活」不登校、遅刻児童への対策

→ 不明児童への連絡及び確認と3日以内の家庭訪問